

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

水質階級Ⅰ

きれいな水

ナミウスムシ
石の表面にはりついていて、伸び縮みする。中・下流部には外来種がいることがある。

ヒラタカゲロウ類
流れの速い石の表面にはりついている。

カワゲラ類
体ががんじょうな感じがする。石の下やすき間にいる。

サワガニ
体色は赤色、茶色、青白色のものがあるが、同じ種類である。

ヘビトンボ
流れの速い石の下にひそんでいて、えものおそろ。

ヨコエビ類
上流の石の下や水中にたまった落葉の間にいる。

タニガワカゲロウ類
体はヒラタカゲロウ類に似ている。流れの速いところにいる。

ヤマトビケラ類
流れの少しゆるやかなところの石面に多い。

チラカゲロウ
流れのやや速いところにいる。

ヒゲナガカワトビケラ類
流れの速い石の間に網をはってえさを集める。体色は茶～黒色。

ニンギョウトビケラ類
流れが少しゆるやかなところの石面にいる。

コガシマトビケラ類
頭部の前縁に浅い凹みがある。

ゲンジボタル
流れが少しゆるやかなところにいる。カワナをえさとする。

オオシマトビケラ
流れが少し速いところにいる。

水質階級Ⅱ

ややきれいな水

カワナナ類
流れの少しゆるやかなところにいる。外来種のコモチカツツボ*は数mmと小型。浅い凹み。

コオニヤンマ
流れが少しゆるやかなところにいる。

ヒラタドROMシ類
石の表面にはりついている。

ゲンジボタル
ゲンジボタル、ハイケボタル*。

オオシマトビケラ
流れが少し速いところにいる。

*のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

水質階級Ⅲ

きたない水

ミスムシ
おしげ、落葉のあるところではきれいな水にもいる。

シマイシビル
背中に縦線模様がある。伸びたり縮んだりする。尾の先に吸盤がある。

タニシ類
流れのゆるやかなところにいる。

ミズカマキリ
川では川岸の草の中などにいる。

水質階級Ⅳ

とてもきたない水

エラミミス
尾部にえらがある。流れのゆるやかなところにいる。

サカマキガイ
多くの巻貝と違い、左巻き。流れのゆるやかなところにいる。

アメリカザリガニ
北アメリカ原産の外来種。流れのゆるやかなところにいる。

コスリカ類
腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある。瀬でみられる赤いコスリカはセシユスリカやハイロコスリカが多い。

チョウバエ類
尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある。

汽水域（海水が混じっているところ）

水質階級Ⅱ

ややきれいな水

イシマキガイ
石や護岸にはりついている。淡水域にもいることもある。

ヤマトシジミ
砂や泥の中にある。淡水域にはマシジミ*や外来種のタイワンシジミ*がいる。

水質階級Ⅲ

きたない水

イソコツブムシ類
石の下にいる。さわると臭くなる。

ニホンドロソコエビ
泥の上や中にある。河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる。

*のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。